

- ・新 県央域いちご集出荷調整施設整備事業 60
- ・指定産地等パワーアップ事業 450
- ・薬用作物等産地形成支援事業 8
- ・新 鳥獣害と戦う強い集落づくり事業 307
- ・農業農村地域活性化総合対策事業 2,487
- ・木材利用加速化事業 401
- ・少花粉スギ等優良種苗供給対策事業 10
- ・森林活力再生事業 323
- ・下関漁港水産業振興拠点整備事業 390
- ⑤山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト
  - ・新 未来へつなぐ明治150年検討事業 5
  - ・新 やまぐち県産品売込商社設立支援事業 61
  - ・やまぐちインバウンドパワーアップ事業 115
  - ・世界遺産・国指定文化財保存活用事業 34
- ⑥暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト
  - ・地方バス路線運行維持対策事業 546
  - ・離島航路対策事業 368
  - ・新 岩国錦帯橋空港ターミナルビル機能強化事業 325
  - ・新 全国都市緑化やまぐちフェア開催事業 101
  - ・空き家活用等推進事業 6
- ⑦地域の元氣創出応援プロジェクト
  - ・新 住んでみいね！ぶちええ山口移住促進事業 47
  - ・やまぐちサテライトオフィス誘致推進事業 21
  - ・離島の定住・交流サポート事業 30
  - ・やまぐちUターン就職総合支援事業 66
- ⑧ふるさとの自然環境保全プロジェクト
  - ・地球にやさしい環境づくり融資事業 734
  - ・再生可能エネルギー関連設備等導入支援事業 37
  - ・野生鳥獣管理対策強化事業 53
- ⑨子育てしやすい環境づくり推進プロジェクト
  - ・保育・幼児教育総合推進事業 5,123
  - ・多子世帯応援保育料等軽減事業 318
  - ・ぶち幸せおいでませ！結婚応援事業 70
  - ・切れ目のない妊娠・出産・子育て支援推進事業 278
  - ・三世同居・近居推進事業 17
- ⑩次代を拓く教育充実プロジェクト
  - ・私立学校運営費補助 5,300
  - ・私立幼稚園預かりサポート推進事業 319
  - ・いじめ・不登校等対策強化事業 196
- ⑪みんなが活躍できる地域社会の実現プロジェクト
  - ・輝く女性応援事業 6
  - ・障害者いきいきサポート事業 40
  - ・新 やまぐち働き方改革推進加速化事業 40
  - ・子育て女性等の活躍応援事業 58
  - ・若者が活躍する競技スポーツ推進事業 270
- ⑫災害に強い県づくり推進プロジェクト
  - ・新 消防防災ヘリコプター更新事業 10
- ⑬安心の保健・医療・介護充実プロジェクト
  - ・医師確保対策強化事業 219
  - ・医療勤務環境改善支援事業 170
  - ・地域医療介護連携情報システム整備事業 79
  - ・ドクターヘリ運航支援事業 258
  - ・地域包括ケアシステム基盤整備事業 1,047
- ⑭日々の暮らし安心・安全確保プロジェクト
  - ・消費者対策総合推進事業 77
  - ・山口警察署建設費 1,240

### 議会改革検討協議会の答申



議会改革検討協議会からの答申書を議長に手渡す

改選後の7月に会長に指名された、議会改革検討協議会も議長及び各会派から提出された25項目について協議した結果すでに協議会の結論を経て実践に移している2項目、見直しや努力を求める8項目、現行通りとする15項目の3つに整理させていただきました。3月13日柳居議長に先城副会長ともども答申しました。

- 1、模擬議会の開催（高校生県議会）
- 2、児童及び乳幼児を同伴した本会議傍聴に係る傍聴規則の改正
- 3、中高生等による議会訪問見学の実施
- 4、県議会に設置した議会訪問による活動状況の発信
- 5、本会議傍聴のあり方
- 6、常任委員会への資料の事前配布・参考資料の配布
- 7、ネットの活用、議会中継の字幕
- 8、選挙公報の発行
- 9、会議の公開
- 10、議事録のネット公開

1～2は実践している。3～10は見直しや努力する項目です。特に8の選挙公報の発行は次期県議会議員選挙から発行するよう求めている。

### 土木建築委員会から

・平瀬ダム建設事業費現行740億円が平成15年調査検討では対策の必要がなかった事業を平成21年国の「貯水池周辺の地すべりに関する技術指針」の改定により、「ダム周辺の地すべり対策工事」が必要との見解が平成28年12月に出され、現在事業費の精査中が国の事例などを参考にすると100億円程度の増額が必要との提案がなされた。

・徳山下松港港運営会社の早期設立を目指す。  
18万トン級のケーブサイズなどの大型船が円滑に入港できるよう、航路や泊地などのハード整備を順次実施、また会社を設立すると特定貨物輸入拠点港湾の指定が受けられ、固定資産税などの優遇措置が受けられるなど事業推進のため早期に実現されるよう要望する。

河村敏夫の 夢とロマンのある創造をめざして!

# 山口県議会報告 No.59

発行日 平成29年4月吉日

●発行所および発行責任者/周南市川崎2丁目21番17号 河村敏夫  
TEL 0834-63-2592 FAX 0834-64-1112 URL http://www.ccsnet.ne.jp/~toshi808/

## 柳居俊学議長を選出し、2月定例県議会が開催される

平成29年2月28日召集された2月定例会の日程は2月28日から3月17日までの会期18日間で開催されました。

●先ず1月8日に逝去された故畑原基成議長に対し、弔詞を贈呈したのでその報告と本会議冒頭に黙祷を捧げた。つづいて追悼の言葉を自民党会派以外の会派で交流のあった公明党の先城憲高議員から贈られた。

●遺影を喪主長男勇太氏に抱かれ、奥様、長女、畑原後援会長、秘書2人が議場特別室から最後のお別れをされたが在りし日の元氣な加ちゃんを偲び何とも言い難い惜別の思いがした。思えば平成11年に県議選で初当選し、最初は自民党会派に所属されず、畑原、河村の2人で「会派ビジョン21」を結成し、2年半頑張った。同期生は11人で「1・1会」を結成し、年長の私が会長を務め、保守革新問わず、皆で勉強会・研修旅行などいろんな交流をしてきました。宇部久保田市長、長門大西市長なども仲間道北海道の雪祭りにも行き、長崎・対馬への研修旅行が最後となりました。

●続いて畑原議長の逝去により、議長欠員となったため議長選挙が行われた。議長選では自民党会派は前議長の柳居俊学議員を押し、岩国基地を抱える山口県ではただ山口だけではなく、日本の防衛政策を視野に入れて政治判断をしなければならない大変な時期をむかえており、岩国基地議連会長の柳居氏以外には考えられないとの立場で応援した。結果は柳居俊学議員36票、民進党西崎裕作議員9票で新議長が誕生しました。

●代表監査委員には、河野繁太氏に代わり、平成25年まで商工労働部長を務められた木村進氏（62）を選任した。

●取寄委員会の委員には、西木達喜氏（山口）・猪俣俊雄氏（山口）・野村雅之氏（宇部）・予備委員に杉山久美子氏そして新たに周南市の徳山商工会議所専務理事の小林和子氏が選任されました。

●仲裁合意について  
県が平成26年10月に申立人等（徳橋ほか）に約4億6千5百万円で売却した周南市港町の港湾関連用地について、売却後工場建設工事の基礎工事のため当該土地を留削した際当該土地にコンクリート殻やコンクリート製の基礎支柱等が埋設されていることが判明したことから工法の変更による工事費用の増額分及び埋設物の撤去費用約1,600万円の負担で合意した。



柳居俊学新議長と一徳

### 平成29年度一般会計予算について

国は一億総活躍社会の実現や成長戦略の推進を始めとした重要政策課題に重点的に取組むとともに、経済再生と財政健全化の両立を実現することを基本に編成され、総額が前年度に比べ、0.8%増の97兆4,547億円となり、先の衆議院議会で可決され参議院に送付されました。

県では当初予算編成に当たっては「財政健全化に向けた行財政構造改革」と「チャレンジプランの目標突破と地方創生の加速」の2つの基本方針として予算編成に取り組んだとのこと。

まず、歳出構造改革としては、厳格な定員管理により人件費の縮減や公共投資等の適正化、公債費の平準化等による歳出削減を図ると、新たに「行財政改革総括本部」を設け、今後の国の社会保障制度や地方財政政策の動向にもしっかりと対応したい。

計画の最終年度を迎える「チャレンジプランの目標突破や地方創生の加速化」は、地方再生の取り組みをさらに加速させ、目に見える成果を確保するため、地方創生活推進交付金等も最大限に活用しながら、施策重点化方針に基づく6つの重点項目について予算の重点的・集中的な配分が行われました。

●当初予算規模（一般会計）6,809億円（対前年度比△217億円△3.1%）

●特別会計は、企業会計ほか14会計を合わせ1,856億円となります。

提出議案は、予算31件、予算関係事件議決1件、条例21件、事件議決3件、人事案件2件、報告4件などが提出されました。

### 予算編成の基本的な考え方

- 平成29年度当初予算は、恒常的に歳入水準を上回る硬直化した本県の財政構造が続いている中で、基金残高を上回る多額の財源不足が見込まれるなど、極めて厳しい財政状況での編成となりました。
- このため、本県の未来をしっかりと見据え、活力ある県づくりを進めるべく、まずは、それを支える持続可能な財政構造の確立に向け、中長期的な財政基盤を強化・立て直しに全力で取り組みました。
- また、本県の最重要課題である人口減少や直面する政策課題への対応についても、限られた財源を効果的に活用し、最終年度となるチャレンジプランの目標「突破」や地方創生の加速に取り組みました。

### 財源健全化に向けた行財政構造改革の推進

5年後を目途に、基金の取崩しに依存しない自立した財政構造を確立するため、新たに行財政改革統括本部を設置し、歳出構造改革や財源確保対策、また今後の変動要因も視野に更なる対策強化に取り組みます。

### 徹底した歳出構造改革の推進

本県の歳入水準に見合った歳出構造への転換に向けた、総人件費の縮減や公共投資等の適正化、事務事業の見直しなどの徹底した歳出構造改革の推進

### 臨時的・集中的な財源確保対策の実施

保有基金の取崩しや保有財産の効果的な活用、未利用財産の売却促進など、行財政構造改革の期間における臨時的・集中的な財源確保対策の実施

### 行財政改革統括本部（新設）による取組強化

新設する行財政改革統括本部における、社会保障費の増大や地方財政対策の動向など今後の変動要因も視野に入れた更なる対策の検討・具現化

### チャレンジプランの目標「突破」と地方創生の加速

計画期間の最終年度を迎えるチャレンジプランに掲げる活力指標の達成など、目標を「突破」するとともに総合戦略に基づく地方創生の取組をさらに加速・深化させるため、施策重点方針に基づき、実効的で早期の効果発現が見込まれる事業を重点的に推進します。



1・1会の日さんと対馬漁港視察で談笑する故畑ちゃん(中央)

### 施策重点化方針に基づく重点項目

- ①平成28年熊本地震を踏まえた防災対策の強化  
熊本地震の教訓を活かし、災害に強い県づくりを進めます。  
〔活力指標〕 自主防災組織活動カバー率、私立学校の耐震化率 等
- ②若者に魅力ある雇用の場の創出  
地域産業の成長支援や県産品の売り込み強化等を進めます。  
〔活力指標〕 関係支援機関の支援による創業数、農林漁業新規就業者数 等
- ③県内への定着・選流・移住の推進  
大学等と連携した若者の県内定着やUターンを推進します。  
〔活力指標〕 大学生等の県内就職割合 等
- ④結婚・出産・子育て支援の充実  
結婚から子育てまで切れ目ない支援や地域連携教育の充実等を進めます。  
〔活力指標〕 放課後児童クラブ実施箇所数 等
- ⑤持続可能で元気な地域社会の形成  
元氣な中山間地づくりや安心して暮らせる生活環境の確保を進めます。  
〔活力指標〕 「地域の夢プラン」作成数 等
- ⑥明治150年プロジェクトの推進  
明治150年に向け、県民の意識啓発や歴史の継承などに取り組みます。  
〔活力指標〕 延べ宿泊者数 等

### 平成29年度当初予算のポイント

#### 平成29年度当初予算における財源不足への対応

- 当初予算編成方針公表時点で180億円と見込んでいた財源不足を解消するため、徹底した歳出構造改革や臨時的・集中的な財源確保対策に取り組んだ結果、取組後の収支は+33億円まで改善する見込みとなりました
- 一方、昨年末以降、国予算や地方財政対策が明らかとなり、社会保障の充実等に伴う経費の増大や地方交付税等の減少などにより、財政不足額は72億円拡大しました。
- その結果、最終的な財源不足額は39億円となり、財源調整用基金の取崩しで対応しました。

#### 行財政構造改革の方向性と対策

5年後を目途に、基金の取崩しに依存しない自立した財政構造の確立を図ります。

- 地方財政計画や社会情勢等を踏まえつつ、歳入を恒常的に上回る歳出面での見直しを図り、本県の歳入水準に見合った歳出構造への転換を推進します。
- 歳出構造改革による効果が発現するまでの間の財源不足の解消を図るため、臨時的・集中的な財源確保対策を講じます。
- 新たに「行財政改革統括本部」を設置し、上記対策等を確実に推進するとともに、社会保障費の増大や地方財政対策の動向など、今後の変動要因への対応も視野に入れた更なる対策を実施します。

### 徹底した歳出構造改革の推進

厳格な定員管理等を通じた総人件費の縮減や、公共投資等の適正化、事務事業の徹底した見直しなどに総力を挙げて取り組み、本県の歳入水準に見合った歳出構造への転換を推進します。

#### 総人件費の縮減

600人以上  
定員削減

社会情勢や行政ニーズの変化などを踏まえ、これからの広域自治体にふさわしい簡素で効率的な組織体制の整備を進めるとともに、総定員の削減に取り組みます。  
また、給与制度の総合の見直し等を着実に推進します。

#### 公共投資等の適正化

県負担額  
10%削減

全国水準並の投資規模への抑制を図るため、国予算や地方財政計画等を勘案しながら、事業の重点化や平準化を進めることにより、公共事業費の県負担額を段階的に抑制します。  
また、県営建築事業についても、公共事業費と歩調を合わせた抑制を図ります。

#### 事務事業の徹底した見直し

全事務事業の  
徹底した見直し

全ての事務事業について、事業の目的や効果、役割分担等を踏まえた徹底した見直しを行うとともに、厳格なコスト意識の下、より一層の節減・合理化を推進します。

#### 公共施設等の総合管理

県有施設の  
移管・廃止

公の施設について存続の必要性やあり方を精査し、施設の移管・廃止を進めるとともに、公共施設等マネジメントを推進し、修繕・更新経費の縮減を図ります。

#### 公債費の平準化

30年債導入  
による平準化

施設の耐用年数とのバランスや地方財政計画、全国自治体の状況等を踏まえ、30年債の導入を進め、公債費の平準化を図ります。

#### 行財政改革統括本部での取組強化

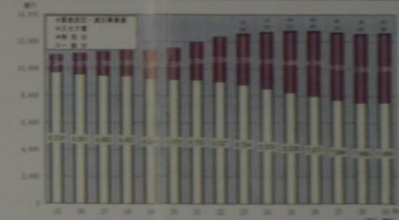
更なる対策の  
検討・具現化

行財政改革統括本部において、歳出構造改革の取組状況や今後の社会情勢なども踏まえ、更なる対策の検討・具現化を図ります。

### 15年度以降の予算規模と県債残高の推移



### 歳出構造の推移（一般財源）



年度	一般財源	特別財源	基金
15年度	1,000	1,000	1,000
16年度	1,000	1,000	1,000
17年度	1,000	1,000	1,000
18年度	1,000	1,000	1,000
19年度	1,000	1,000	1,000
20年度	1,000	1,000	1,000
21年度	1,000	1,000	1,000
22年度	1,000	1,000	1,000
23年度	1,000	1,000	1,000
24年度	1,000	1,000	1,000
25年度	1,000	1,000	1,000
26年度	1,000	1,000	1,000
27年度	1,000	1,000	1,000
28年度	1,000	1,000	1,000
29年度	1,000	1,000	1,000



平成29年度当初予算による県有施設移管・廃止の推進による施設管理の効率化を図るための取り組み



### 主な事業の概要

単位：百万円

①世界に広がる産業力強化プロジェクト		
・産業団地分譲加速化事業	104	
・企業立地サポート事業	419	
・新みなとの機能強化促進事業	31	
②次世代の産業育成プロジェクト		
・新水素サプライチェーン技術開発支援事業	100	
・「水素先進県」実現促進事業	97	
・産業戦略研究開発助成事業	158	
・次世代産業育成チャレンジアップ事業	137	
③挑戦する中堅・中小企業応援プロジェクト		
・新山口発！水産インフラ輸出構想推進事業	3	
・まちなか創業チャレンジ応援事業	29	
・女性創業サポート事業	15	
・チャレンジ山口創業応援事業	37	
・新外国人留学生等活用支援事業	10	
・人手不足分野人材育成・定着支援事業	115	
・地域建設産業就業支援総合対策事業	6	
・やまぐちの活力を支える高校生育成事業	69	
④元氣な農林水産業育成プロジェクト		
・やまぐち6次産業化・創商工連携推進事業	175	
・やまぐち県産木材利用拡大総合対策事業	92	
・新規就業者受入れ研修事業	120	
・新規農業就業支援定着促進事業	530	
・農地中間管理機構事業	159	

### 周南港湾管理事務所

#### ●徳山ポートビル建替工事について

鉄筋コンクリート3階建て、床面積約2,000m<sup>2</sup>。港湾機能を集約した施設として整備。

周南港湾事務所をポートビルに統合する。屋上には展望機能を確保し、周辺施設は賑わいを創出するため緑地を整備し、ビルと一体的な利活用を図る駐車場も約100台を確保する。総工事費は約10億円として本年度から仮事務所の整備、ビル解体工事、新築工事が31年度末には完成。入居予定者は、周防灘フェリー・大津島巡航・水産振興課出先機関・周南マリコム・周南港湾事務所・港湾運営会社・徳山海陸運送・シーゲートコーポレーションの8社で周辺整備は海岸保全整備まで含めると33年度までの予定。

今年度はポートビル上屋撤去費用	6,800万円
●周防灘フェリー可動堰改良工事	1,500万円
●那智浮き桟橋修理	400万円
●岸壁徳山港町-6.00m改良工事	1,500万円
●同 晴海 -12.00m改良工事	800万円
●同 晴海 -10.00m改良工事	800万円
●富田・古市港 船揚場レール取替工事	400万円
●富田・企業団地内臨港道路改良工事	850万円
●高潮対策徳山港 胸壁改良・護岸改良	5,250万円
●同 給島 給島地区護岸消波	4,700万円
●海岸施設老朽化徳山 江口 排水施設	2,200万円
●同 浜田 排水施設	3,000万円
●同 栗屋 堤防補修	3,100万円
●港湾設備 晴海ガントリークレーン修理改良	5,000万円
●同 コンテナターミナル再編工事	27,000万円
●同 3号上屋修理工事	500万円
●同 4号上屋修理工事	500万円
●同 ポートビル諸経費	1,000万円

### 周南農林事務所…周南市管内のみ

#### (農業部は全県を対象)

- 新規農業就業者定着促進事業…新規就農者に対し支援する事業など 全県53,000万円
- 移住就農加速化事業…県外からの移住就農者確保のため
- 移住就農促進拠点整備事業…農業大学校に移住就農拠点を整備する
- 農業経営体育成事業…農業経営塾開催など
- 集落営農法人連合体育成事業…大規模経営の確立と所得の確保などへ支援
- 新規就業者受け入れ態勢整備事業…生産条件整備支援や住宅確保など
- 産地競争力強化対策事業
- 農山漁村女性企業育成事業
- (農村整備部)
- 農業競争力強化基盤整備事業として三丘地区へ浅層暗渠(13.8ヘクタール)整備1,500万円
- 農地耕作条件改善事業として八代地区へ浅層暗渠(3.6ヘクタール)整備、1,100万円
- 農業競争力強化基盤整備事業として長穂地区へ区画整理(4.3ヘクタール)10,000万円

●農地耕作条件改善事業として長穂上中溝地区に農業用水路の改修をする、10,000万円

●同じく長穂小原地区の農業用排水施設を整備するため測量設計を行う、700万円

#### (森林部)

●荒廃危険山地の崩壊等未然に防止する。  
熊毛小松原・荒瀬 3,600万円

●同上 鹿野大洲・黒道 2,900万円

●県営林道開設事業をする。 鹿野・高岳線 10,900万円

●水源森林再生対策事業を鹿野・果山地区整備する。  
8,900万円

#### (畜産部)

●やまぐち養豚収益強化事業として家畜飼養管理施設・家畜排泄物処理施設一式

鹿野・山口東部畜産振興クラスター協議会へ、81,000万円

### 山口県防府水産事務所

●市営漁港魚場機能高度化保全事業…給大島漁港 7,700万円  
近江・刈尾・本浦・天が浦・大津島漁港 1,700万円

●市営漁港海岸保全施設整備事業…給大島漁港海岸 900万円

●県営漁港海岸保全施設整備 …徳山漁港海岸 500万円

### 山口企業局周南工業用水道事務所

●島田川工業用水道建設事業 96,000万円

●徳山道水路改良工事 36,000万円

●監視堰取替工事・水官橋耐震補強工事など

### 周南土木建築事務所管内

#### (建築課関係)

●公営住宅H棟建替建設(全体事業費39,300万円)20戸 RC-5F

●公営住宅H棟解体工事 3,000万円

●公営住宅慶万F棟外壁改修工事 1,000万円

#### その他建築関係発注予定分

○川上ダム管理事務所耐震化改修工事

○光丘高校管理特別室防水改修工事

○華陵高校武道場改修工事

○新南陽高校防球ネット設置工事 を現在予定



林よしまさ先生を囲んで



中国山東省との友好協定 35 周年記念訪中団



## 河村敏夫の 夢とロマンのある創造をめざして! 山口県議会報告

発行日  
平成29年7月吉日  
No.60

●発行所および発行責任者／周南市川崎2丁目21番17号 河村敏夫  
TEL 0834-63-2592 FAX 0834-64-1112 URL:http://www.ccsnet.ne.jp/~toshi808/

## 6月県議会の最大の争点だった 空母艦載機の岩国移駐容認を決定

6月議会に先立って5月30日から6月3日まで中国山東省と山口県との日中友好協定35周年を記念して山東省を村岡知事・守田副議長を団長とする訪中団に指名を受け参加しました。

帰国後、休暇もなく、山口県議会は、6月21日から7月7日まで開催されました。改選後2年目になることから委員会構成も変わり、私も農林水産委員会・議会運営委員会に所属することになりました。

6月議会での争点は、長年引っ張ってきた岩国基地への厚木基地からの空母艦載機の移駐を容認するかどうかでありました。地元岩国市・周防大島町・和木町が6月議会で容認しており、県議会が最後の決断することになりました。

県議会では岩国基地問題に関する議員連盟総会を開き知事から改めて説明をうけました。今日まで、外務省・防衛省との交渉経過を逐一報告を受けており、容認については地元市町の意向もくみとり賛成しました。以下今日までの経過です。

米軍再編成が平成17年度に国から提出され地域住民や地元自治体は、10年以上の間その対応に苦慮してきており、この間、神純普天間基地の空中給油機15機の受入れを容認するなど普天間基地の危険性除去や負担軽減という国の防衛課題に対して協力してきた。

本年1月20日に空母艦載機部隊の移駐計画について、国から具体的な移駐時期や機種等についての説明があり再編計画は最終局面を迎えた。

#### ●県の移駐最終判断に向けた論点

○基地問題に対する基本姿勢(基地再編が示される以前からの対応姿勢)として、

- ①岩国基地の今以上の機能強化は容認できない
- ②夜間離着陸訓練の実施は容認できない
- ③地元岩国、和木、周防大島において取りまとめられる最終判断を尊重して対応

#### ○米軍再編成問題に対する基本スタンス

- 政治の対応方針を見極め、移駐を判断する際に併せて整理
- ①これ以上の負担増は認められない。
  - ②普天間基地移設の見通しが立たないうちに、空母艦載機の移駐のみ切り離して進めることは認められない。

#### 米軍再編による増大最悪の基地負担

米軍機 約60機 ⇒ 約120機(高千穂約107機)  
米軍人等 約6,300人 ⇒ 約10,100人(神純県52,000人)

岩国基地に係る安心・安全対策と地域振興策の実施について県及び地元市町は連携して、改めて疑問点等を照会し、騒音や安全性等の面で、基地周辺住民の生活環境は、神合移設前と比べて、全体として悪化したと言えないと検証・整理したが地元市町は、安心・安全対策や地域振興策に解決すべき課題があるとして、国との協議を続けており国はこれらに誠意をもって対応する必要がある。

一方、空母艦載機の移駐による再編後の極大最悪の基地となり、地域住民は、倍増する航空機による騒音被害、塵塵の危険性、米兵犯罪への不安等を抱え続け、地元自治体は、多数の米兵軍人・家族の増加により社会基盤の整備等新たな財政需要に的確に対応していくことが求められるなど著しい負担増が生じることとなる。

国は、基地を抱える地域住民・地元自治体のこうした実情も十分に踏まえ、住民の不安解消につながる安心・安全対策はもとより、基地の存在そのものの負担が存在することや、わが国の平和と安全への大きな貢献に見合う地域振興策を目標に見える形で措置し、応えることが必要である。そのためには下記の事項の措置を要する。

地元市町村の要望として…米軍再編交付金制度の延長及び増額等・住宅防音工事対象の拡大や騒音測定器の設置・国道188号岩国南バイパス南神の早期事業化・岩国医療センター跡地の活用・再編関連特別地域整備事業のソフト事業への対象拡大及び事業期間の更なる延長(5年⇒10年)基地の存在による負担への対応として基地周辺の振興を図るための特別措置法の制定と交付金の創設など、国から前向きに検討するとの確約が5月17日回答で得られた。

この他、一般会計6月補正予算で、地方創生推進交付金2千万円追加されたほか、人事案件で人事委員会委員の選任、公安委員会委員の任命、条例の改正が7件、航空機として、防衛ヘリコプター1機、12億5千万円の買入れ、意見書が3件(空母艦載機部隊の移駐に関する意見書・森林吸収源対策に関する安定的な財源確保を求める意見書など賛成)・請願5件(いずれも反対)などが上程され、最後に議長から諮問委

員会として、地方創生加速化特別委員会（議会改革特別委員会）の設置が最案され可決された。

★6月6日に周南管轄の出入機関の事業説明会が開催されましたので、その報告をいたしますが、以前から要望していた次の路線の改良などについて、予算付けがなされました。

### 周南土木建築事務所…旧徳山市管内

- 国の直轄事業として施工されている重要港湾下松徳山港の港湾整備事業が引き続き40億円の予算計上で施工されます。
- 国道2号線徳山地区三田川交差点の渋滞解消対策として、東川から花昌交差点までの6車線化改良工事が始まります。

【参考（改良工事区間）】



●瀬戸内海側の徳山から山陰側の須佐を結ぶ国道315号線的全線で、ただ一か所「交通難所」と言われて久しい栄谷地区の冬の凍結による通行止めや老朽化した暗いトンネル内での漏水・凸凹路面で耐震化も必要で年間の補修も膨らむなどに加え、その上、急カーブと地形的な高低差などあり、交通面の安心・安全通行確保のためと、もうひとつは『活力ある元気生活圏』づくりの推進をめざす、鹿野・大向・大道理・長徳・須々万・中須・須金の北部集落地区で公共施設・病院・学校・銀行などが集積する須々万地区はコンパクトな街づくりをめざし、そして徳山市街地との交流を促進する交通ネットワークを整備する必要があることから、以前から要望していた区画です。県は2013年から毎年1千万円の調査費を計上しております。今年度も調査費として1千万円の予算が計上されておりますが地元盛り上がりがなく、県も戸惑っていると考えます。中山間地域を盛り上げるためにもなぜ事業化に向けて動かないのか不思議でならない。

6月定例市議会が藤井康弘市議がこの件を取り上げ一般質問しておりますが市執行部にも県に対する予算要望でも積極的に取り上げることが必要だ。建設費については私の確認では国と県との負担で賄える事業であることは早い時期に提言している。難問がいくつもあり、市は出来ないものとして諦めていると伝え聞く。そんなに簡単にはこととは運ばないと考えている。300万円/mとして、2キロで60億円となる。私には2.5キロと聞いている。2号線の戸田拡幅、三田川交差点の改良についても長く掛かった。粘り強く何度も何度もはじかれても諦めることなく早期での事業化に向けて、積極的に取り組んでもらいたい。

県も調査する以上この路線が危険区画であり、改良しなけ

ればならないと考えていると思います。私が仕えた歴代の周南土木建築事務所長は必要であることを認めているのだから。

- 国道315号線栄谷トンネル修繕工事を2,100万円で行う。
- 国道315号線栄橋橋梁補強工事を5,200万円で行う。
- 広島・安佐地区、岩国の豪雨災害により、従来の設計では対応できないことから、設計変更が行われ、着工が遅れておりました大向二俣地区の住民を災害から守るための大向川の災害防止法面工事が4,200万円で行われます。
- 国道315号線大向の石ノ原と二俣地区のオーバーレイ工事を700万円かけて施工します。
- 県道中戸田線湯野峠付近の付け替え道路として施工する和田・農産道路から新南陽側は施工済み箇所から袖木河内までの道路新設工事が進捗しています。用地買収を一部の残り、4,200万円今年度も改良工事を行います。
- 用地買収が遅れていた県道中戸田線の湯野・名山地区の道路拡幅改良工事を1,500万円で行います。
- 湯野の奥地県道山口徳山線の石砂谷地区の道路排水対策として850万円かけて調査設計を行い工事着手します。
- 国道489号線の小畑地区の災害復旧で法面工事を500万円で行います。
- 地元から要望の強かった新南陽津和野線と県道和田上村線の上村交差点改良工事が交差点付近の住宅団地造成により今計画を遂行しなければ交差点付近の改良は難しいと判断して用地交渉を進めております。用地交渉が出来れば、買収済み用地も含めて交差点改良が行われます。
- 長年かかっている県道和田上村線の奥四熊地区の道路拡幅工事2,500万円と井谷地区の河川付け替え800万円で行います。
- 新南陽津和野線川上ダム地区の曲線道路改良工事1,500万円を継続して行います。
- 新南陽津和野線の改良地区延伸について当面国道2号線から新幹線直下までとのこと用地買収も終了工事も完了するが地元への要望も踏まえ、更に菊川小学校入口まで施工することとして道路設計に着手しています。通学路の確保と安心安全な歩道の設置が期待できる。当地区は当初都市計画事業として国道2号線から間上までの区画で計画されていたようだが余りにも計画時間を要することから、地元住民の協力をいただいたながら交通安全対策事業で進めた方が早いし、住民の賛同も受けやすいとの判断で計画変更をして今日に至っております。地元住民の積極的な協力により工事の進捗も進み、今年度計画に計上した上村交差点改良へと繋がれば当初からの県道間上までの夢が叶うのではないかと胸を躍らせている一人でもあります。一日も早い夢の実現に向けて頑張りますので皆さまのご協力を下さい。本年度は、さらに10,500万円かけて改良工事を進捗します。
- 下上・内容の急傾斜崩壊対策としての法面工事3,100万円で行います。
- 徳山・東金剛山地区で急傾斜崩壊対策事業として法面工事1,600万円で行います。
- 徳山・水上南側沢を急傾斜崩壊対策事業として継続して3,100万円用地補償・工事用道路工事を進捗します。
- 地区住民が纏まって要望した徳山・風呂ヶ道の市街地内

の竹葉茂地域でありその地区の一掃を願ひ、急傾斜崩壊対策事業にさだめる条件に適合する事で役員さんが県土木と折衝されて、高低差・対象住宅個数など綿密に調査された結果、規定に定める急傾斜対策事業で施工できることが採択され、今年度から2,100万円用地測量・調査・設計を行います。

- 徳山・金峰・中原が急傾斜崩壊対策事業で2,100万円用地測量・調査・設計を行う。
- 国道434号線水越地区用地補償と道路拡幅改良工事で6,300万円で行い、合わせて法面工事を2,100万円で行う。
- 県道徳山徳山線の林地区に待避所設置を500万円で行う。
- 県道徳山光線の阿田川地区の道路測量設計を3,100万円で行う。
- 県道徳山本郡線長谷地区用地補償で700万円で行う。
- 下松新南陽線（中央通線）の施工について用地買収に手取ったが用地収容も含め用地買収が終わったので道路改良工事の進捗を計りたい。今年度は電柱共同溝29,000万円と運送管工事を5,300万円の工事を進めたい。当地区は県道の渋滞により、市道浦山川崎線への車両侵入が多く地区住民から早く県道の完成により交通量の減少に向けて積極的に取り組んで欲しいとの要望が絶えず寄せられています。
- 下松新南陽線（久米地区）は用地補償、事前調査に7,100万円補助助費で行います。
- 下松新南陽線遠石から東川間街路樹整定を500万円で行う。
- 下松新南陽線遠石3丁目歩道橋工事600万円で行う。
- 柳ヶ浜/西光寺川護岸工事を21,000万円で行う。
- 大島・留守地区法面対策工事7,600万円で行う。
- 高瀬対策事業で大島地区の本浦市岸護岸工事10,000万円で行います。
- 栗屋・粘島・柳ヶ浜停車場打ち上げ地区の切削オーバーレイ工法1,000万円で行う。
- 同上線道路改良のため用地補償を500万円で行う。
- 粘島地すべり対策として用地測量・買収費として900万円。
- 夜市・的場川護岸かさ上げ工事600万円で行う。
- 富田川・徳善地区の護岸測量と護岸工事を400万円で行う。
- 富田川・川曲川200万円、徳善地区400万円で行います。

### 周南土木建築事務所…旧新南陽管内

- 国道489号線の津浦ヶ峠トンネル修繕工事1,000万円で行います。
- 国道489号線大神地区の法面工事100万円で行います。
- 国道376号線の高瀬1号橋の補修のため調査・設計1,600万円で行います。
- 国道376号線の高瀬3号橋の耐震補強工事を2,100万円で行います。
- 国道376号線の高瀬地区のオーバーレイ工法500万円で行う。
- 国道376号線の新米光橋の耐震補強工事を3,100万円で行います。
- 国道376号線高瀬地区落石防護欄300万円で行います。
- 県道中戸田線の湯野峠のオーバーレイ工法500万円で行います。
- 県道中戸田線打木野の道路改良工事を1,000万円で行います。交差点は改良しましたが残る道路拡幅改良を行います。
- 県道徳山新南陽線若山大橋の橋梁補修を引き続き6,300万円で行います。

- 県道徳山新南陽線古塚3丁目に100万円かけて集水溝を新設。
- 県道下松新南陽線の福岡3丁目地区のオーバーレイ工法400万円で行います。
- 新南陽停車場土井地区の用地補償費として今年も12,000万円予算付けをしています。用地交渉の進展がみられず旧番と変わらないやり取りに終始しているようです。もうそろそろ撤退するか前進するか決断をしなければならない時期にきているのではないかと。
- 富田・丸山町の温田西川地区の通常防災事業として用地補償・工事用道路工事を3,700万円で行います。
- 夜市川の羽島の堰補修設計700万円で行います。
- 富田川浸水想定区域域成経費1,700万円で行います。
- 富田川音響橋上流護岸工事700万円で行います。
- 和田米光120、高瀬300万円で行います。
- 市内県道7号線の根木運送作業850万円で行います。

### 周南土木建築事務所…旧無毛町管内

- 地元の協力により実現しました県道豊岡停車場線の歩道設置に1,000万円今年度行います。旧宅の撤去は終わり、明るくなりましたが道路区画整理は2年間の養生を置き施工いたしますご了承下さい。
- 県道久杉高水停車場橋口地域測量設計を今年度2,000万円で行います。
- 県河川の波渡について地元から強い要望があります。先般も支所長から頂きましたが無毛管内で最低年3箇所は必ず施工することをお願いしております。とはせず島田川の本流の波渡が優先してありましたので懸ってこなかったことでもあります。ほぼ島田川も完了したようですので頑張って年3箇所と言わず頑張ります。今年度は島田川・小松原1,000万円、楚の川・大内川300万円、東郷寺川・小松原200万円、石光川・蓬尾300万円で行います。
- 県道徳山光線の奥陽野地区の道路改良工事に500万円で行います。
- 県道光沢河線の小松原地区への歩道設置工事600万円で行います。
- 正蓮寺川・樋口地域のベンチ補修を150万円で行います。
- 八代・河原畑町の木場橋撤去工事に250万円で行います。
- 県道徳山光線の安佐地区の道路オーバーレイ工法350万円で行います。
- 県道徳山光線の八代地区の道路オーバーレイ工法300万円で行います。

### 周南土木建築事務所…旧鹿野管内

- 国道315号線新田原橋耐震工事を4,200万円で行います。
- 県道鹿野古賀線の鹿野上地区の用地測量を600万円で行う。
- 同線の上述同地域のオーバーレイ工法100万円で行います。
- 国道315号線の細野地区の側溝設置を150万円で行います。
- 同線の大瀬地区のオーバーレイ工法120万円で行います。
- 徳山徳山線の金峰郷地区オーバーレイ工法100万円で行います。
- 鹿野の鹿野中地域の波渡を200万円で行います。

### 向道ダム管理事務所から

- 平成15年からの継続事業として、向道ダム上流部の堆積土砂の取り除き事業も今年度も引き続き実施いたします。掘削土量は約3,500m<sup>3</sup> 予算額は2,900万円

# 平成 29 年県職員の給与に関する報告及び勧告について

## 「今年の給与勧告のポイント」

- ・給料表・期末・勤勉手当（ボーナス）ともに改定なし
  - ・扶養手当は配偶者の手当を減額、子の手当引き上げ
  - ・通勤手当の見直しで、全額支給の限度額を引き上げ
  - ・民間給与と職員給与との比較  
369,399 円 - 369,032 円 一職一職の較差 307 円
  - ・特別給は民間 4.31 月、職員 4.30 月
- このことについて、人事委員会委員長談話が平成 29 年 10 月 18 日に出された。

本日、人事委員会は、議会及び知事に対し、職員の給与等に関する報告及び勧告を行い、所要の措置をとられることを要請しました。

職員給与は、民間給与や国家公務員給与等との均衡を図って決定することとされていますので、勧告に当たり、本年の民間給与実態調査の結果や人事院勧告の内容等を勘案して慎重な検討を行いました。

その結果、給料表、期末・勤勉手当（ボーナス）については、本年は職員給与と民間給与との較差がわずかであることなどから、改定を行わないことが適当であると判断しました。

扶養手当については、国や他の都道府県との均衡の観点から、配偶者に係る手当額を減額し、子に係る手当額を引き上げる見直しを行うこととしました。また、通勤手当については、交通機関等利用者の全額支給の限度額の引上げや自動車等使用者に支給する手当額の見直しを行うこととし、両手当の改定を来年度から実施するよう勧告しました。

## 「新栄谷トンネル建設推進協議会」の設立総会開催

参議院議員選挙の開票日の平成 29 年 10 月 22 日 18 時から標記のことに伴って須々万農村改善センターで開催されました。役員は次のとおり、会長 木村健一郎市長、会長代行 有馬孝志、副会長 古谷・米澤・長嶺・宮本・重国・福田・岡・土田・吉松、理事各地域から有志の方々、事務局を政本永光・藤井康弘、県議藤井・上岡・新造、河村は顧問として県との窓口を担当。事業としては、①周南市とともに山口県に対し新栄谷トンネルの建設要望活動②住民に対し新栄谷トンネルの必要性等の啓発活動と署名活動で気運醸成する。

## 第 35 回全国都市緑化やまぐちフェア

山口ゆめ花博 開催案内  
ゆめの未来公園はじまる

### ■ 山口ゆめ花博 6 つの特徴

- 1 咲き誇る 1,000 万本の山口県の花
- 2 山口県から始まる「子どもの育ちを支える公園」
- 3 日本一に挑戦…日本一長い竹のコースター・日本一長いブランコ・日本一高いブランコ・日本一広い芝生広場
- 4 ファンタスティックなナイトプログラム
- 5 心躍る 1,000 のイベントと体験プログラム
- 6 新しい公園の夢を持ち寄る県民参加プログラム

職員の勤務環境については、公務を取り巻く環境が大きく変化の中で、職員の健康の維持や、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現に向けた取組を着実に進めていくことが重要です。特に、長時間労働の是正を始めとした働き方改革が、社会全体の重要課題となっていることから、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の取得促進などによる総実勤務時間の短縮に向けて、より実効性のある措置を講じる必要があります。また、心身両面の健康管理対策やハラスメント対策、育児や介護を行う職員等の働きやすい勤務環境の整備についても積極的に取り組む必要があると考えます。

人事行政の運営については、本年 6 月の閣議決定を受けて、国において、公務員の定年の引上げについて具体的な検討が進められており、本県においても、国の検討状況を注視しつつ、本県の実情を踏まえて定年を引上げに係る検討を行う必要があると考えます。また、採用試験の応募者数の減少が続く中、任命権者とも連携して、より一層、きめ細かく効果的な人材確保策を展開していく必要があると考えます。

公務員倫理については、常に厳正な規律意識と高い倫理観を持って綱紀の保持に努めるとともに、県民全体の奉仕者としての使命感を持って全力で職務に取り組み、行政に対する県民の期待と信頼に応えていくことが必要と考えます。

県民の皆様におかれましては、人事委員会が行う勧告制度の意義と職員の適正な処遇の確保について、深い御理解をいただきたいと思います。

## 次回平成 31 年県選から選挙公報が発行されます

私が議会改革協議会会長のときに議長への答申要望したもので有権者への選挙公報の配布は市町選管を通じて自治会経由や新聞折込等により実施される。

## 南方地域被災者慰霊祭

第 52 回慰霊祭が 11 月 6 日神純県糸満市あぶみが丘「防長英霊の塔」前で弘中副知事、柳原議長や地元神純県から県・市・山口県人会の方々、山口県からは、県・遺族・民間団体の方々など参加され、議会からは久しぶりに 11 人が参加し、しめやかに行われた。

### 開催期間

平成 30 年 9 月 14 日（金）から 11 月 4 日（日）52 日間

### 会場及び目標来場者数

山口きらら博記念公園（山口市） 50 万人以上

山口県議会に対する問い合わせなど御一報ください。 河村敏夫携帯 090-9060-8710 まで



# 河村敏夫の 山口県議会報告 No.61

夢とロマンのある創造をめざして!

発行日  
平成 30 年 1 月 吉日  
No.61

●発行所および発行責任者/周南市川崎 2 丁目 21 番 17 号 河村敏夫  
TEL 0834-63-2592 FAX 0834-64-1112 URL http://www.ccsnet.ne.jp/~toshi808/



明けましておめでとうございます



旧年中は大変お世話になりました。

昨年を振り返った時に、衆議院選挙では私も予想だにできなかった高村正彦先生に代わって長男の「高村正大氏」を後継指名を突然出され、当惑いたしました。皆様方の御支援によりまして父高村正彦先生を超える得票を得て県内 4 選挙区でもトップ当選を戴き心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

年が変わりまして、衆議院選挙が急遽施行された関係で今年 1 月 18 日告示、2 月 4 日投票日で執行されます山口県知事選挙がございます。

すでに御承知のとおり、現職村岡つぐまき知事が昨年 9 月県議会で立候補の意思表明されて、自民党県連・公明党・連合山口の推薦を受け現任後援会輪作りを進めております。

どうぞ引き続き御支援・御協力をお願いいたします。私からもすでに後援会に加入されて御支援を賜っております方々には特別にお礼を申し上げます。

さて我が国経済は、雇用・所得環境が改善され、個人消費も緩やかではあるものの回復基調にあるといわれております。しかしながら、依然として止まらない人口減少対策は地方にとって命取りになるのではと考えております。地方創生が第一です。

内外を見れば、北朝鮮の核兵器・ミサイル対策です。隣国でありながら、一触即発の状況で綱渡り外交をしています。いまこそ、憲法の改正は戦争を再び引き起こすのではなく日本の国を自らが守ってゆくために必要です。

是非、今年が皆様方にとって、安心、安全な暮らしが出来るよう願わずにはおられません。



田原の衆議院選挙で喜びの高村正大夫妻

## 国指定重要無形民俗文化財 「三作神楽」奉納

国指定の重要無形民俗文化財「三作神楽」を当日、村岡つぐまき知事を迎えて奉納される。知事は 23 の舞の中で全国的に珍しい「三方荒神」より鑑賞、保存会のみなさんご苦勞への謝辞と伝統行事の保存引継ぎの願いのあいさつがあった。



2019年1月18日撮影の「村岡つぐまき知事」

# 村岡つぐまさ知事の所信表明

平成 29 年 11 月定例県議会での、村岡つぐまさ知事の知事選挙に向けた重ねての決意表明がありました。

私は、平成 26 年 2 月の知事就任以来、県政運営の指針として策定したチャレンジプランに則し、地方創生など国の政策ともしっかりと連携しながら、人口減少問題をはじめ、本県が抱える様々な課題を「突破」し、「活力みなぎる山口県」を実現するための挑戦を重ねてまいりました。

この間、本県の強みを活かした産業戦略の重点的な取組の中で、国際バルク戦略港湾や山陰道をはじめとする社会基盤の整備が進み、約 100 件に及ぶ企業誘致や過去最高の観光客数など、目に見える多くの成果も得てまいりました。

また、結婚・出産・子育て支援の充実や中山間地域づくりの推進、防災対策の強化にも取り組み、行財政基盤の面では、県債残高が半世紀ぶりに減少へと転じたところです。

これも、ひとえに議員各位の御指導と御支援、また、県民の皆様のご理解と御協力のお陰であり、ここに改めて、心から感謝を申し上げる次第です。

しかしながら、最大の課題である人口減少には、歯止めがかかっておらず、また、県財政についても厳しい状況にあるなど、県政には、多くの困難な課題が残されています。

これを突破し、山口県の新たな活力を創出していくためには、これまでの成果の上に立ち、未来への確かな道筋を描き、力強く前に進めていかなければなりません。

また、少子高齢化の克服に向け、産業構造や社会保障制度の転換など、国の取組も大きく変化しようとしており、県としても、その行方をしっかりと見極め、的確に対処していくことも必要です。

そして、そのための更なる挑戦に自らが先頭を立て取り組むことが私の果たすべき責務と考え、次期知事選挙への立候補を表明させていただいたところです。

来年は、明治改元から 150 年を迎え、明治 150 年プロジェクトの中核イベントとして「山口ゆめ花博」も開催いたします。

私は、明治 150 年を契機に、山口県の未来をしっかりと切り拓いていけるよう、本県の強みを最大限に活かし、活力の源となる産業力を伸ばす「産業維新」、潜在力を活かし人や物の流れを飛躍的に拡大し、山口県を活性化する「大交流維新」、そして、誰もが希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けられる基盤を作る「生活維新」の「3つの維新」に積極果敢に挑戦してまいります決意です。

議員各位をはじめ、県民の皆様のご更なる御指導、御支援を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

## 平成 30 年 国に対する県からの要望事項

本県の地方創生の推進や関連施設の実現に向け、緊急かつ重要な次の事項について、平成 30 年度の政府予算の編成、国の政策の決定に当たり御理解、御高配をいただきますようお願い申し上げます。

人口減少問題は、国の未来を左右する大きな課題であり、今まさに手を打っていかねばならない重大な岐路に立たされています。加えて、東京圏への人口の集中は、依然として拡大が続いており、地方では生産年齢人口が大幅に減少し、地域の活力が奪われ、このことがさらに人口減少に拍車をかけています。

こうしたなか、国においては、一億総活躍社会の実現に向けて、人づくり革命と生産性革命の 2 つの大改革により、経済再生に取り組み、地域の暮らしを守り抜くために、地方創生で活力ある元気な地方をつくらせています。

地方の元気がなくて日本の再生はありません。本県としても、最重要課題である人口減少問題に果敢に挑戦し、人口の流出や少子化を食い止め、将来にわたって元氣な山口県を創っていくために、「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて諸施策を鋭意推進していますが、これらの地方創生の取組をさらに加速・深化させるのは、国との連携・協力を一層強めていくことが不可欠です。

- 山口ゆめ花博の開催支援について (内閣官房/国土交通省)
- 明治 150 年プロジェクトの推進について (内閣官房/文化庁)
- 東京一極集中の是正について (内閣官房)
- 政府関係機関の地方移転の推進について (内閣官房/文部科学省/水産庁/防衛省/気象庁)

- 次世代産業の育成・集積に向けた研究開発拠点の形成について (文部科学省)
- 人口減少下における県内中小企業の持続的成長について (経済産業省/中小企業庁)
- 水産インフラ輸出構想の推進について (経済産業省/外務省/水産庁)
- コンビニートの国際競争力強化に向けた港湾の整備について (国土交通省)
- 山陰道の建設促進について (国土交通省)
- 産業力・観光力強化に向けた基盤整備について
  - 国際拠点港湾及び重要港湾の整備促進 (国土交通省)
  - 幹線道路網の建設促進 (国土交通省)
  - 工業用水の安定供給の確保 (経済産業省)
- 水素利活用による産業振興と地域づくりについて (経済産業省/国土交通省/環境省)
- 若者等に魅力ある雇用場の創出について (内閣府/厚生労働省/経済産業省)
- 国内外に誇れる魅力ある観光地域づくりの推進について (国土交通省/観光庁)
- 働き方改革の推進について (内閣官房/内閣府/総務省/厚生労働省/中小企業庁)
- 結婚から子育てまでの支援施策の充実について (内閣官房/内閣府/厚生労働省/文部科学省/国土交通省)
- 社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進について (文部科学省)
- 防災・減災対策の推進について (内閣府/総務省/文部科学省/農林水産省/水産庁/林野庁/国土交通省)
- 持続可能な財政構造の確立に向けた地方税財源の確保について (内閣官房/総務省)

…… 山口県知事選挙は、1月18日告示・2月4日投票日です。……

## 農林水産委員会の行政視察の報告



石巻市水産物地方卸売市場

- 11月15日から17日までの3日間で宮城・山形方面へ農林水産委員会にて視察した。今回は現在下関漁港の改修工事も行われているが平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により当時東洋一といわれた水揚げ棟 (654m) が完全に崩壊した後、新時代に相応した高度衛生管理型の産地卸売市場のモデルとして水産庁の強力なリーダーシップのもと、建設が推進された全長 880m の閉鎖式水揚棟を見学した。
- 見学通路から水揚げ・陳列・販売の状況を見て衛生管理が行き届いた様子を実感させられた。また近隣に福島原発を控えた放射能の検査体制の充実にも行き届いており、その施設の充実感に驚いた。
- 農事組合法人サンフレッシュで育苗センター方式による特林産物生産と新規就農支援について研修し、オガ粉から菌床製造過程でシイタケ・マイタケを育成、それを出荷する。
- アスハラガスの産地創出は冷涼な気候条件の下、稲作依存から脱却気運が高まり、それを契機に水田を畑利用のための基盤整備を実施、生産協議会の設立による運営の共同化や稲蒔連係による資源循環型農業を通じて高収益作物の生産を推進するため、地域一体となった品質確保に取り組み、産出額の増加と雇用の創出を実現。
- 農家との畜産クラスター体制の構築により、地元の米を積極的に活用し、安心安全な国産資料 100% (米・麦・大豆) で育てた和牛をブランド化し、自社の堆肥を稲作農家に提供し双方の収益力を強化する「畜産クラスター」体制を構築、自社直営精肉店を開設 6 次産業化も進める。肥育牛 800 頭・繁殖牛 300 頭・乳牛 40 頭・社員 10 名。

## もうひとつの白内烈士の慰霊祭

毎年 11 月 2 日曜日に実施される回天顕彰会が主催する回天基地での慰霊祭に今年は欠席した。多くの遺族の方をはじめ行政・自衛隊・回天顕彰会の方たちで 300 名を超える参列者があったように聞く。片や新南陽・山崎八幡宮で回天が大津島を 11 月 8 日出撃し南方ウルシーで戦果を上げた 11 月 20 日を慰霊の日と定め、回天烈士の「令嗣」を祀り宮司が祝詞を上げ戦果をよみがえっている儀式である。今年は初めて顕彰会会長ほか 2 名の参加があり 9 名だった。回天基地の大津島が山崎八幡宮の氏子だからと戦後もなくから毎年慰霊祭を行っておられ私も毎年参列している。

令嗣

